

新型コロナウイルス感染症に対応 新しい診療体制の構築へ

緊急事態宣言は解除されましたが、依然として猛威をふるう新型コロナウイルス感染症。これからは、マスクの着用や手洗いの徹底、「3密」(密集、密接、密閉)の回避など、「新しい生活様式」の実践がより一層求められます。

また、新型コロナウイルス感染症の影響から、いわゆる「受診控え」をしている人も多く、現実として病状が悪化してしまうケースが見受けられます。病状が悪化する前に、かかりつけ医などに相談して、定期的な受診をしましょう。

問合せ／健康政策課 内線2471

朝霞地区医師会、歯科医師会からメッセージ

朝霞地区歯科医師会志木支部長
みやもと ひずる 院長(幸町歯科口腔外科医院)から
市民の皆さまへ



新型コロナウイルス感染症の水際対策として、マスクをつけている人は多いのではないのでしょうか。新しい生活様式では「自分の身は自分で守る」ことが大切です。

新型コロナウイルス感染症は「飛沫感染」で、人から人に移ります。「大皿を何人かで箸で食べる」「飲み物を

回し飲む」「会話中にツバが飛ぶ」「くしゃみ」「せき」は、直接ツバが付くので感染しやすいです。また、手についたツバが、握手などで間接的に相手につく場合もあります。

感染している人のツバが直接的あるいは間接的に口の中に入り、舌の表面にある新型コロナウイルスの受容体が新型コロナウイルスをキャッチして、感染がはじまります。通常は感染しにくいように、受容体はタンパク質でできた膜で覆われていますが、歯周病があると、ウイルスが受容体と結合しやすい状態になり、感染しやすくなります。

ちなみに、舌の表面の受容体と結合したウイルスが猛威をふるい、味を感じる味蕾細胞を破壊するので、新型コロナウイルスに感染した人に、味覚障害が出るのです。そのため、歯周病の対策が新型コロナウイルス感染症の予防にはとても大切です。

歯科医院の感染症予防対策は万全です。新しい生活様式に、歯科医院での「口腔ケア」も取り入れて、ポストコロナを乗り切りましょう！

朝霞地区医師会志木支部長
いわさき ともひこ 院長(いわさき内科・循環器科)から
市民の皆さまへ



新型コロナウイルス感染症は国内でも指定感染症とされ、さまざまな対策が取られています。市内の医療機関では、外来受診者の体温測定の実施や施設内の定期的な換気のほか、診察室にアクリル板を設置するなど、感染防止策に取り組んでいます。

緊急事態宣言解除後、一時感染者数も落ち着いたと思っ
ていましたが、再び、増加傾向にあります。まだ油断は禁物です。今まで以上に、石けんでの手洗いやアルコール消毒などで手指消毒を心がけ、熱中症に注意しながらのマスクの着用、3密(密集、密接、密閉)を回避する行動をお願いします。

現在、朝霞地区医師会では朝霞地区PCRセンターを設置し、朝霞地区医師会と独立行政法人国立病院機構埼玉病院が協力してPCR検査を実施しています。まず、かかりつけ医などに相談して、必要であれば検査を受けることができる体制になっています。体調の悪い方は必ず、かかりつけ医や近隣のクリニックなどに電話で連絡を取り、医師の指示に従ってください。

また、このような時期では、病院を恐れて受診しない方がいるかもしれません。病状が悪化する前に、特に服薬をしている方は、定期的に受診をしてください。

新型コロナウイルス感染症に対応 新しい診療体制の構築へ



さとう しげ
佐藤 滋 院長

TMG宗岡中央病院の主な取組

問合せ / (医) 武蔵野会TMG 宗岡中央病院
☎048(472)9211

TMG宗岡中央病院では、皆さまが安全に安心して来院できるよう、職員一丸となって新型コロナウイルス感染症予防策に取り組んでいます。取組に関する動画も制作しましたので、ぜひご覧ください。



別室での診察・検査の実施
別室にて診察をした結果、医師が必要と判断した人に対しては、個人防護具を着用したうえで、PCR検査を実施しています。



入口での体温測定・問診
正面玄関で来院者の検温、風邪症状の問診などを行っており、症状がある人については、別室にて診察を行っています。



受付、診察室での感染防止
総合受付や各診察室などにアクリル製のパネルを設置するなど感染予防策を講じています。また、定期的な換気をし、椅子や手すりのふき取りなども実施しています。

小児科オンライン診療
患者の皆さまが、より安心して受診できるよう、小児科オンライン診療を8月中の開始に向けて準備を進めています。現在、小児科受診患者の93%は市内在住のお子さんのため、安心して受診できる病院を目指します。
小児科オンライン診療の対象者は、慢性疾患の定期受診に加え、初診の場合も受け入れできるように調整を進めています。



▲TMG宗岡中央病院ホームページ

市からのお願い

健(検)診は体調の良いときに受診しましょう

新型コロナウイルス感染症の影響で受診を控えている人も多いかもしれませんが、

しかし、生活習慣病やがんの発見が遅れてしまうと重症化の恐れがあります。自らの健康を守るためにも、無症状のうちから定期的な健(検)診を受けることが大切です。体調の良いときに、連絡を入れてから受診をするように心がけましょう。

問合せ / 健康政策課 内線2464

お子さんの予防接種は予定どおりに受けましょう

予防接種のタイミングは、感染症にかかりやすい年齢などをもとに決められています。特に生後2か月から予防接種を受けはじめることは、お母さんからもらった免疫が減っていくときに、赤ちゃんがかかりやすい感染症(百日せき、細菌性髄膜炎など)から赤ちゃんを守るために、とても大切です。

問合せ / 健康増進センター

☎048(473)3811

新型コロナウイルス 接触確認アプリなどの活用を!

新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性がある場合に、通知を受けることができます。自分を守り、大切な人を守るために活用しましょう。

問合せ / 健康増進センター

☎048(473)3811



▲新型コロナウイルス接触確認アプリ



▲埼玉県LINE COVID-19お知らせシステム